

平成12年度 評議員応募申請について

平成12年度の本学会評議員の応募申請要項をお知らせいたします。なお、選任委員会の協議を経て、本年度総会の理事会・評議員会で承認され総会で決定されますと、平成13年4月1日より本学会の評議員となります。

平成12年度 日本造血細胞移植学会 評議員応募申請要項

以下の事項を順にA4用紙に記載し、平成12年11月6日(月)までに日本造血細胞移植学会事務局宛て書留にて郵送して下さい。なお、原本の他に、原本のコピー6部を必ず同封して下さい。

記

このたび平成12年度 日本造血細胞移植学会評議員に応募します。

- 1 氏名(ふりがな)印
- 2 生年月日(平成13年4月1日現在の年齢)
- 3 所属施設 / 所属部署 / 職名 / 住所 / 電話FAX番号
- 4 連絡先(3と異なる場合に記載)
- 5 学会(骨髄移植研究会を含む)入会年(5年以上正会員で会費完納が条件です。入会年、会費納入状況等のご不明の場合には事務局までお申し出下さい。連絡先TEL:(052)971-5550)
- 6 学歴 / 職歴(造血細胞移植との関連が判るように用紙1枚以内で)
- 7 資格(医師 看護婦(士)等)
- 8 所属学会 / 団体(役職)
- 9 専門分野(関連の深い分野から3分野以内を具体的に記載。医師の場合は内科 / 小児科 / 基礎系が判るように:30字以内)
- 10 医療業績(できるかぎり箇条書きにして400字以内で記載。造血細胞移植経験数も含めて下さい)
- 11 研究業績(造血細胞移植に関連のある事項を400字以内で記載して下さい)
- 12 学会発表
【過去10年間の筆頭演者としての発表を最近のものから順に演者(3名までに省略可)、演題名、学会名、発表年、地名、発表形式(シンポジウム、口演、ポスターなど)を記載して下さい。】
- 13 論文
【原著 / 総説 / その他に分けて最近のものから順に著者名(全員)、題名、発表誌、号、最初と最後の頁、年を記載して下さい】
- 14 その他
(学会評議員に応募するにあたり特に主張されたいことがあれば200字以内で記載して下さい。)

送付先 / 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65
名古屋大学医学部 第1内科 谷本光音 宛
(日本造血細胞移植学会 事務局)

日本造血細胞移植学会ホームページアドレス変更のお知らせ

本学会のホームページが昨年度より開設されておりますが、この度アドレスの変更をいたしましたのでご連絡いたします。

http://www.med.nagoya-u.ac.jp-naika_1/jhsct/index.html



<http://www.jshct.com>

JSHCT Letter No.6

The Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

日本造血細胞移植学会 October 2000

発刊発行：日本造血細胞移植学会 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地 名古屋大学医学部第一内科内 TEL (052) 744-2146 FAX (052) 744-2161
発行：齋藤 英彦 編集責任：日本造血細胞移植学会ニューズレター編集委員会 印刷：株式会社セントラルコンベンションサービス 年2回発行：1999年9月

第23回 日本造血細胞移植学会総会の開催お知らせ

会長：中畑龍俊(京都大学大学院医学研究科発達小児科学)

第23回日本造血細胞移植学会総会は「新しい世紀の扉を共にあけよう」をメインテーマに12月8日(金)、9日(土)の両日、京都の地で開かれます。4半世紀前に始まった造血幹細胞移植は近年急激に発展し、骨髄、末梢血、臍帯血と様々な幹細胞源を用いた移植が可能となってきました。本年度に入り、フランスから造血幹細胞を用いた遺伝子治療の世界初の成功例が報告され、わが国では同種末梢血幹細胞移植の保険適応が認められるなどさらに新しい局面を迎えています。また、この2~3年の間に幹細胞そのものの概念が大きく変貌しつつあり、ヒトES細胞や間葉系幹細胞研究に見られるように再生医療としての造血幹細胞移植の位置づけも問われています。

新しい世紀を迎えるにあたり、もう一度原点に立ち返って造血幹細胞移植の持つ本質的な問題点を考え、様々な形で行われつつある新しい細胞療法について皆さまと一緒に討論し、これからの移植医療の発展につながるような有意義な総会にしたいと思っています。本総会では特別講演1、招待講演3、教育講演6、シンポジウム4、ワークショップ5、サンセットセミナー1、ランチョンセミナー6、公開シンポジウム、口演、ポスター発表と多彩なプログラムが企画されています。是非多数のご参加をいただきますようお願い申し上げます。

『第23回日本造血細胞移植学会総会プログラム』(案)

< 特別講演 >

特別講演(12月9日 11:00 - 12:00 メインホール)
座長 中畑龍俊 京都大学大学院医学研究科発達小児科学
「21世紀の生命科学と医療」岸本忠三 大阪大学総長
共催：中外製薬株式会社

< 招待講演 >

- 1 (ランチョンセミナー1) (12月8日 12:00-13:00 メインホール)
座長 峯石 真 国立がんセンター中央病院内科
尾上裕子 東京大学医科学研究所二階西病棟(婦長)
Nursing care of patients after stem cell transplantation.
Viki Anders, Johns Hopkins Comprehensive Cancer Center
共催 スミスクリン・ピーチャム株式会社
- 2 (ランチョンセミナー2) (12月8日 12:00 - 13:00 ルームA)
座長 岡本真一郎 慶応大学医学部血液内科
Prevention of graft-vs-host disease after allogeneic transplantation: are we on the verge of surgical precision?
Donna Przepiorke, MD Anderson Cancer Center
共催 藤沢薬品工業株式会社
- 3 (12月8日 13:00 - 14:00 メインホール)
座長 齋藤英彦 名古屋大学医学部第1内科(教授)
What role do allogeneic peripheral blood stem cells have in transplantation?
William I Bensinger, Fred Hutchinson Cancer Research Center
共催 キリンビール株式会社

4 (12月8日 13:00 - 14:00 ルームA)
座長 小澤敬也 自治医科大学血液学(教授)
Gene therapy of primary immunodeficiencies: experimental approach and preliminary clinical results. Marina Cavazzana-Calvo, INSERM, France
共催 宝酒造株式会社

5 (12月9日 11:00 - 12:00 ルームA)
座長 池田康夫 慶応大学医学部内科(教授)
Biology, Transplantation, and Evolution of Stem Cells..
Irving L Weissman, Stanford University
共催 グラクソ・ウエルカム株式会社

6 (ランチョンセミナー4) (12月9日 12:00 - 13:00 メインホール)
座長 宮村耕一 東北大学血液免疫科
The graft-versus-tumor effect in renal cell carcinoma following non-myceloablative allogeneic peripheral blood stem cell transplantaion. Richard W. Childs, NIH
共催 キリンビール株式会社・三共株式会社

7 (ランチョンセミナー5) (12月9日 12:00 - 13:00 ルームD)
座長 堀田知光 東海大学医学部内科(教授)
Human pluripotent stem cells.
Martin F. Pera, Monash University, Melbourne, Australia
共催 中外製薬株式会社

< 教育講演 >

- 1) 12月8日 9:00 - 9:40 **メインホール**
座長 小寺良尚 名古屋第1赤十字病院第4内科(部長)
「造血幹細胞移植の将来と問題点」
浅野茂隆 東京大学医科学研究所内科(病院長)
- 2) 12月8日 9:00 - 9:40 **ルームA**
座長 杉山治夫 大阪大学医学部保健学科病態生体情報学(教授)
「同種免疫を用いた移植後白血病再発の治療」
中尾真二 金沢大学医学部第3内科(教授)
- 3) 12月8日 9:40 - 10:20 **メインホール**
座長 原 宏 兵庫医科大学輸血部(教授)
「骨髄からの心筋再生とその臨床応用」
福田恵一 慶応義塾大学 心臓病先進治療学
- 4) 12月8日 9:40 - 10:20 **ルームA**
座長 高上洋一 国立がんセンター中央病院
「樹状細胞の基礎と臨床」
珠玖 洋 三重大学第2内科(教授)
- 5) 12月9日 8:30 - 9:15 **メインホール**
座長 土肥博雄 広島赤十字・原爆病院内科(副院長)
「同種移植免疫学の基礎と臨床」
内山 卓 京都大学大学院血液病態学(教授)
- 6) 12月9日 9:15 - 10:00 **メインホール**
座長 今村雅寛 北海道大学医学部加齢制御医学(教授)
「造血幹細胞移植とケモカイン」
松島綱治 東京大学医学部社会予防医学(教授)

< ランチョンセミナー >

- 1) ランチョンセミナー3 (12月8日 12:00 - 13:00 **ルームD**)
座長 原田実根 岡山大学医学部第2内科(教授)
「同種末梢血幹細胞移植の現状と将来」島崎千尋
京都府立医科大学第2内科
共催 日本新薬株式会社
- 2) ランチョンセミナー6 (12月9日 12:00 - 13:00 **ルームD**)
座長 西平浩一 大和保健所(所長)
「EBウイルス関連のT/NK細胞腫瘍に対する造血幹細胞移植」
河 敬世 大阪府立母子保健総合医療センター小児内科(部長)
共催 協和発酵工業株式会社

< シンポジウム >

- 1) シンポジウム1(12月8日 14:00 - 16:30 **メインホール**)
Recent progress in hematopoietic stem cell research
Chairman: Shinichi Nishikawa, Department of Molecular Genetics, Graduate School of Medicine, Kyoto University Toshio Suda, Department of Cell Differentiation, IMEG, Kumamoto University
1) Hematopoiesis and vessel formation during early developmental stage. Shinichi Nishikawa, Department of Molecular Genetics, Graduate School of Medicine, Kyoto University
2) Interaction between hematopoietic stem cells and endothelial cells. Toshio Suda, Department of Cell Differentiation, IMEG, Kumamoto University
3) Lymphoid and myeloid development from hematopoietic stem cells. Irving L Weissman, Stanford University
4) Age-associated characteristics of murine hematopoietic stem cells. Hiromitsu Nakauchi, Institute of Basic Medical Sciences, University of Tsukuba
5) Molecular mechanism for the self-renewal of stem cells. Toshio Heike, Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University

- 2) シンポジウム2(12月8日 14:00 - 16:30 **ルームA**)
造血細胞移植後のウイルス感染症
司会 小島勢二 名古屋大学大学院医学研究科成長発達医学
権藤久司 九州大学第1内科
1) 造血細胞移植にみられるヘルペス感染症の病態
木村宏 名古屋大学小児科
2) 造血細胞移植後にみられる各種ウイルス感染症の診断、治療、予防法
1 サイトメガロウイルス(CMV)
..... 森毅彦 慶應義塾大学血液内科
追加発言 薬剤耐性サイトメガロウイルス
..... 榮鶴義人 鹿児島大学難治性ウイルス疾患研究センター
2 EBV..... 矢部普正 東海大学小児科
3 HHV6..... 多屋響子 大阪大学小児発達医学
4 アデノウイルス...宮村耕一 東北大学第2内科
3) 造血細胞移植後のウイルス感染症-問題点及び今後の展開
小島勢二 名古屋大学成長発達医学

- 3) シンポジウム3(12月9日 14:20 - 16:20 **メインホール**)
細胞療法の新展開
司会:平井久丸 東京大学医学部無菌治療部
一戸辰夫 京都大学大学院医学研究科血液病態学
1) 21世紀に向けた細胞療法のためのインフラストラクチャー-輸血から細胞療法へ-
前川 平 東京大学医科学研究所輸血部
2) 樹上細胞療法の新たな可能性
門脇剛光 京都大学大学院血液病態学
3) Autologous CTLを用いたメタノーマの細胞免疫療法
河上 裕 慶應義塾大学医学部先端医学研究所
4) V 24NKT細胞を用いた悪性腫瘍の免疫療法
賢田美江 日本赤十字中央血液センター研究部
5) 造血幹細胞移植と活性化Tリンパ球療法
伊藤仁也 旭川医科大学小児科

- 4) シンポジウム4(12月9日 14:20 - 16:20 **ルームA**)
臍帯血移植の基礎と臨床
司会 井関 徹 東京大学医科学研究所
加藤俊一 東海大学小児科
1) 基礎
1. 臍帯血細胞の造血と免疫の特性
辻浩一郎 東京大学医科学研究所癌病態学研究部
2. 臍帯血幹細胞の体外増幅
安藤 潔 東海大学内科
2) 臨床
1 .小児腫瘍性疾患における成績と感染症
加藤剛二 名古屋第1赤十字病院小児科
2 .非腫瘍性疾患における成績と生着不全
麦島秀雄 日本大学付属板橋病院小児科
3 .成人における成績と問題点
井関 徹 東京大学医科学研究所

- < Sunset seminar >
(12月8日 16:30 - 18:00 **メインホール**) Stem cell gene therapy
司会 谷憲三朗 東京大学医科学研究所内科
加藤郁之進 宝酒造株式会社バイオ研究所(所長)
1) Xgene therapy of human severe combined immunodeficiency (SCID)-X1 disease Marina Cavazzana-Calvo, INSERM, France
2) Efficient retrovirus-mediated transfer of the multidrug resistance 1 gene into autologous human long-term repopulating hematopoietic stem cells Rafat Abonour, Indiana University School of Medicine, USA
3) Cell selection Technologies Today and Tomorrow
John Kemshead, Nexell Therapeutics Inc., USA
共催 宝酒造

< 公開シンポジウム >

- (12月9日 16:20 - 17:50 **メインホール**)
「あなたはどんな選択をしますか? :造血細胞移植それぞれの利点と限界」
座長 国立京都病院小児科 秋山祐一
大阪成人病センター第4内科 平岡 諒
1) 同種末梢血幹細胞移植(血縁同胞骨髄移植との比較)
..... 岡山大学第2内科 原田実根
2) ミニ・トランスプラント..... 国立がんセンター内科 峯石 真
3) 骨髄バンク..... 茨城こども病院小児科 土田昌宏
4) 臍帯血バンク..... 兵庫医科大学輸血部 原宏
5) 患者の立場から
(ルーク・トークの経験から) 栗尾 勝

< ワークショップ >

- ワークショップ1 (12月8日 10:20 - 12:00 **メインホール**)
ミニ・トランスプラント
座長 笠井正晴 札幌北榆病院内科
石川隆之 京都大学血液病態学
- ワークショップ2 (12月8日 16:30 - 18:00 **ルームA**)
Allo PBSCTの問題点
座長 谷本光音 名古屋大学第1内科
河野嘉文 国立九州がんセンター小児科
- ワークショップ3 (12月8日 16:30 - 18:00 **ルームD**)
晩期障害とその対策
座長 気賀沢寿人 神奈川県立こども医療センター
平岡 諒 大阪府立成人病センター第4内科
- ワークショップ4 (12月9日 8:30 - 10:00 **ルームD**)
ドナーの安全確保
座長 塩原信太郎 金沢大学輸血部
星 順隆 東京慈恵会医科大学輸血部
- ワークショップ5 (12月9日 8:30 - 10:00 **ルームB-1**)
VOD/TMA
座長 松山孝治 名古屋第1赤十字病院小児科
坂巻 壽 都立駒込病院血液内科

< 一般演題 >

- 口演1(12月8日 10:20 - 12:00 **ルームA**)
看護1 感染管理・QOL・教育
座長 川北洋子 名古屋第1赤十字病院(婦長)
荒木光子 国立がんセンター中央病院(婦長)
- 口演2(12月8日 10:20 - 12:00 **ルームD**)
合併症
座長 佐尾 浩 名鉄病院血液内科
岡村 純 国立病院九州がんセンター臨床研究部
平林憲之 名古屋第2赤十字病院血液内科
- 口演3(12月8日 10:20 - 12:00 **ルームB-1**)
同種骨髄移植・非血縁者間骨髄移植
座長 宮脇修一 群馬県済生会前橋病院内科
吉田 喬 富山県立中央病院内科
山本益嗣 兵庫医科大学小児科
- 口演4(12月9日 10:00 - 11:00 **メインホール**)
幹細胞・移植免疫・樹状細胞
座長 園田精昭 京都府立医科大学衛生学
高橋 聡 東京大学医科学研究所内科
- 口演5(12月9日 10:00 - 11:00 **ルームA**)
看護2 口腔ケア・心理
座長 阿部三枝子 北海道大学医学部付属病院(婦長); 口腔ケア
湯 浅伸子 京都大学医学部付属病院 (婦長); 心理

- 口演6(12月9日 10:00 - 11:00 **ルームD**)
臍帯血移植
座長 土田昌宏 茨城県立こども病院小児科
幸道秀樹 東京都立府中病院輸血科
- 口演7(12月9日 10:00 - 11:00 **ルームB-1**)
GVH, GVL, DLT
座長 椿 和央 近畿大学医学部第3内科
東 英一 三重大学医学部小児科

< ポスターセッション >

- 12月8日(討論17 ~ 18時)
P - 1: 幹細胞・移植免疫・樹状細胞・MRD
P - 2: 口腔ケア・心理
P - 3: 感染管理
P - 4: 合併症(1)
P - 5: 合併症(2)
P - 6: 合併症(3)・QOL
P - 7: ミニトランスプラント、同種末梢血幹細胞移植
- 12月9日(討論10 ~ 11時)
P - 8: QOL・看護
P - 9: 教育
P - 10: 臍帯血移植
P - 11: 非血縁者間骨髄移植、ドナーの安全確保
P - 12: 同種骨髄移植、GVH、GVL、VOD
P - 13: 同種骨髄移植
P - 14: 自家末梢血幹細胞移植

最終プログラムではございませんのでご了承下さい。

IBMTRよりの研究参加依頼

IBMTRでは、「A comparison of the incidence and severity of GVHD in different ethnic groups」という表題のGV98-07プロトコール参加施設を募集しています。対象はAML, ALL, CMLに対して第1寛解期、慢性期に行われた移植です。1990年から1996年までのHLA適合同胞間移植および非血縁者間移植で、GVHD予防に対してMTX、CSA、その併用が行われた症例に限られます。参加できます施設は、直接IBMTR(International Bone Marrow Transplant Registry, Medical College of Wisconsin PO Box 26509, 8701 Watertown Plank Road, Milwaukee, WI USA 53226)に問い合わせるか、このプロトコールの委員長の1人である王伯銘先生(〒260-0027千葉市中央区新田町1-16井上記念病院内科、電話043 - 245 - 8800、Fax043-245-8813、Email:hakumei@kb3.so-net.net.jp)にお尋ね下さい。